

# 第 55 回いそご文化資源発掘隊 「大岡川を歩く」旧かねさわ道～旧すぎた道

(2022 年 5 月 17 日開催)

## 歩いたコース

【集合】京急上大岡駅改札口前→大岡川遊歩道→青木神社→港南ふれあい公園【休憩】→  
刑務所作業製品展示場(販売所)→横浜刑務所→笹下稲荷神社・別れの一本杉→大岡川  
取水庭→大岡川分水路建設の碑→横浜市立  
日下(ひした)小学校郷土資料館→新川(あらかわ)橋→旧かねさわ道→元笹下橋→大岡  
川と左右手川の合流地点→旧すぎた道→杉  
田坪呑→京急杉田駅【解散】

約 7km(3 時間半)

【概要】大岡川・久保橋付近からプロムナード  
に沿ってスタート。青木橋を渡り青木神社から  
旧道へ。鎌倉街道を横切ると、その先には横  
浜刑務所の塀が続いています。付近にある刑  
務所作業製品展示場や、「別れの一本杉」な  
どを見学。

川沿いに歩いていくと、突然現れる巨大な  
穴！ 大岡川分水路に水を流すための大岡  
川笹下取水庭です。絶景を愉しんだあとは、  
川沿いの長閑な小径から旧道へ入りました。

環状 3 号線を渡ると間もなく旧すぎた道の  
入り口。樹林の中にひっそりと佇む石塔群。し  
ばし江戸時代の空気を吸ったあと、その先の  
杉田坪呑の住宅地に飛び出しました。

集合場所は京急上大岡駅改札を出たところ  
にあるこのスペース。20 人の募集のところ 23  
人まで参加していただくことにしました。

2 グループに分けて出発！



久保橋から大岡川プロムナードを遡っていき  
ます。下に降りて親水ロードを歩くこともできる





のですが、参加者の年齢を考えて、安全な上道を行いました。

青木橋を渡るとすぐに青木神社に到着です。



大正時代、昭和2年、現在と3代にわたる写真が飾られていました。



青木神社に伝わるお話を解説したあと、神社を回り込んで裏の道に出ます。すると、NTT

のケーブル名を表示するプレートに、不思議な名称を発見！ どうやら近くにある朝倉クリニックと関係がありそうです。



細い道(旧道ではない)を進んでいくと、鎌倉街道へ出る直前に、古い橋が現れました。

昭和10年架橋の松本橋。おそらく震災復興橋なのでしょう。コンクリート部分が昭和10年のもので、その上に足されているのは戦後設置したもの。



刑務所作業製品展示場。全国の受刑者が作っている製品を展示して販売しています。運営しているのは公益財団法人矯正協会。安くて良いものが揃っています。







刑務所作業製品展示場を出たあとは大岡川に沿って歩いていきます。しばらくすると水門が現れました。



大岡川取水庭です。大雨が降った時、ここから分岐している大岡川分水路に雨水を流して川の氾濫を防いでいます。



環状2号線を渡り日下小学校へ。空き教室を利用した郷土資料館があります。縄文土器

をはじめ、庶民の生活必需品や尋常日下小学校で使用していた教科書などが展示されています。平成14年11月の開館。



小学校を出て笹釜道路を進んでいくと、旧道の入り口が現れます。のどかな道で、磯子にこんな所があったのかと思うような風景が現れました。



ここは左右手側の合流地点です。





春は新緑が輝いてまぶしいくらいです。

秋は紅葉が美しく、思わず足を止めてしまうほどです。磯子で紅葉といえば久良岐能舞台が有名ですが、ここは自然の景観が楽しめる場所です。



JR のガードをくぐり環状3号線を渡るとすぐ左に入る道が現れます。これが旧すぎた道。

舗装路が途切れた先は、薄暗い山道になりますが、それほど深くはないので昼間は安心して入れます。



しばし江戸時代の風を楽しんだら、樹林の中を少し登っていきます。いちばん標高の高いところから見えるのは、杉田坪呑の住宅、そして浜中学校の校庭。

参加者は住宅地を横切って根岸線のガードをくぐり、京急杉田駅に向かいました。

駅前のお稲荷さん前で記念撮影をして終了となりました。

